（公社）岐阜県理学療法士会主催
平成２８年度県民公開講座レポート

平成 28 年 6 月 19 日（日）に行われた（公社）岐阜県理学療法士会主催 平成 28 年度県民公開講座について報告させて頂きます。

今回は、岐阜県図書館にて、岐阜市民病院リハビリテーション科　副部長 佐々木 裕介 先生をお招きして「急性期のリハビリテーション－病気してすぐにリハビリするとどんな良いことがあるの？　リハビリの重要性についてみんなで学びませんか？－」というテーマにてご講演頂きました。今回は、一般・県士会員合わせて 116 名と非常に多くの方に参加いただきました。

佐々木先生には、様々な分野の急性期リハビリテーションと運動の重要性についてご講演いただきました。内容は非常に濃いものでしたが、一般参加の方にも非常にわかりやすく、丁寧にお話されており、一般参加の方だけではなく我々、療法士にとっても非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

特に、今回のテーマである「急性期」から、できるだけ早く身体活動を改善させ、廃用症候群を防ぐことが、予後に影響を与えるということを学びました。また、中でも、「運動は万能薬」という言葉が印象的で、改めてリハビリテーションの重要性を確認することが出来ました。

貴重な時間を割いて、講演して頂きました佐々木先生、心から感謝申し上げますとともに、先生の講義で学ばせて頂けたことを臨床に活かせていけたらと思います。また、準備に携わって頂いた研修部の皆様、準備や後片付けをお手伝い頂きました皆様、誠にありがとうございました。

学術局研修部 部員
多治見市民病院　成瀬拓也